

「エゾシカ緊急対策期間」に関する事業について

1 道における捕獲の推進

(捕獲実施箇所を増やすとともに、新たな取組も開始)

・指定管理鳥獣捕獲等

鳥獣保護区等の規制エリアでの捕獲

誘導捕獲のモデル実施と効果の検証

市町村と連携した効果的な捕獲

○ R5 : 12 地域 (790 頭) → R6 : 13 地区 (予定)

・捕獲困難地対策

市町村界など市町村による捕獲が進んでいない区域での捕獲

○ R5 : 4 地区 (138 頭) → R6 : 4 地区 (予定)

・越冬期集中捕獲【新規】

越冬個体が集結する場所における大量捕獲

○ R6 : 4 カ所 (試験捕獲 3 カ所、本格捕獲 1 カ所)

2 狩猟による捕獲の推進

(生息数への影響の大きいメスジカの捕獲増に誘導)

・エゾシカジビエ利用拡大等推進事業 (狩猟個体搬入)【拡充】

事業参加狩猟者に対して、食肉処理施設への持ち込み対して支援金を支払い

○ R5 : 8,000 円/頭 → R6 : オス 8,000 円/頭

メス 10,000 円/頭

3 市町村による捕獲の推進

(生息数への影響の大きいメスジカの捕獲比率が高まる時期の捕獲増を誘導)

・エゾシカ緊急対策交付金【拡充】

国の交付金対象事業以外の独自財源による捕獲事業費について、地方交付税で措置されない 2 割の自主負担分の半額を道から交付

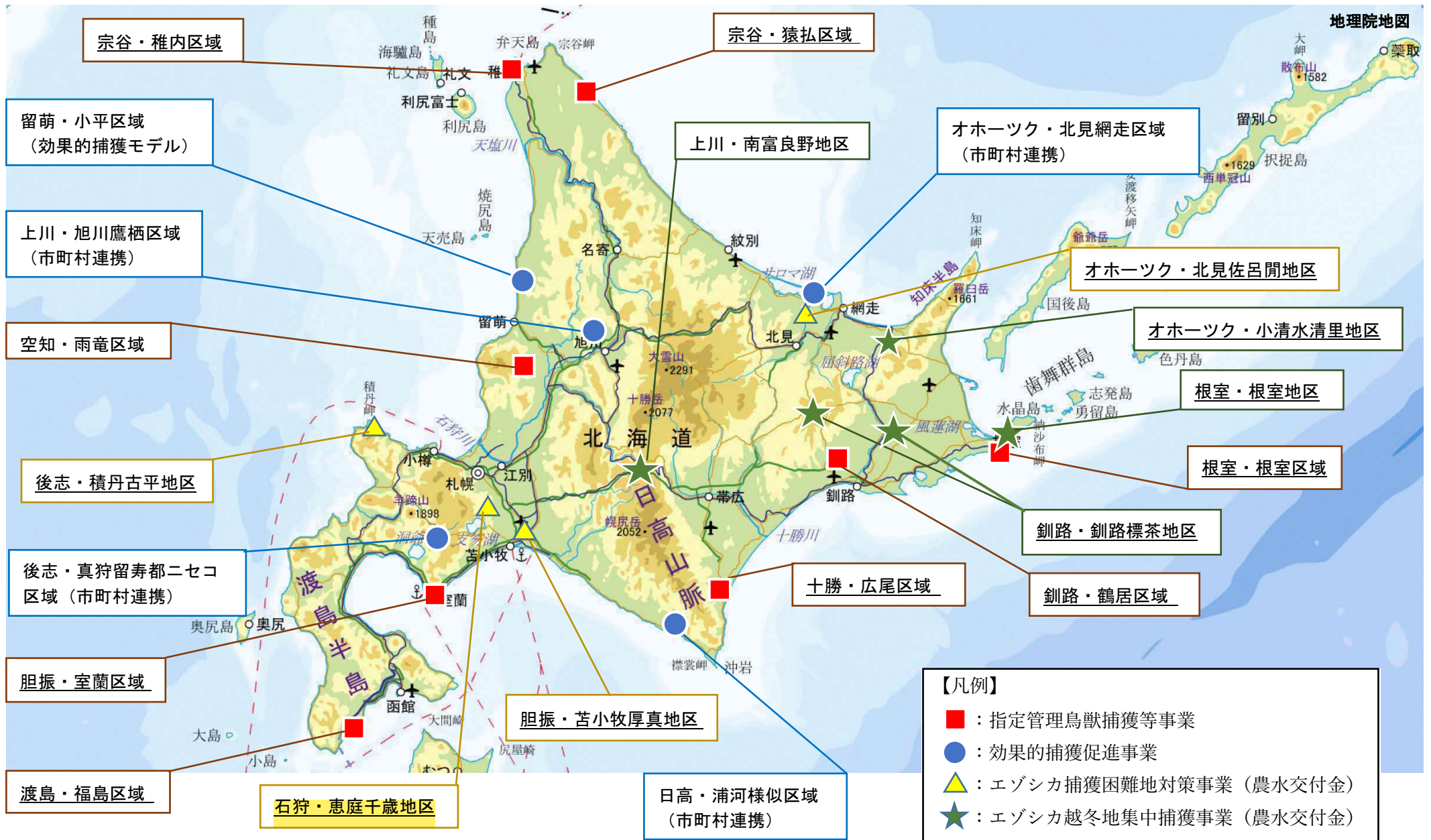
○ R6 年 2・3 月捕獲分から、基本交付額 7,000 円/頭に加え

前年度実績より捕獲数の増加分について追加交付 8,000 円/頭 を設定

(4 月～翌年 1 月捕獲分は 6,000 円/頭)

令和6年度 指定管理鳥獣捕獲等事業・効果的捕獲促進事業

エゾシカ捕獲困難地対策事業、エゾシカ越冬地集中捕獲事業 実施予定区域（北海道）



令和5年度捕獲実施位置図 (北海道環境生活部関連分)



エゾシカ捕獲困難地対策事業実績・予定

年度	振興局	市町村	土地管理者	猟法	捕獲数
R4 (2022)	石狩	恵庭市・千歳市	国有林	罝いわな	14
	後志	積丹町・古平町	国有林	罝いわな	0
	胆振	室蘭市・伊達市・登別市	国有林	罝いわな	2
	日高	新冠町・新ひだか町	道有林	罝いわな	2
	留萌	天塩町・幌延町	国有林	くくりわな	13
	オホーツク	北見市・佐呂間町	国有林	くくりわな	23
	十勝	浦幌町・釧路市	道有林	罝いわな	18
	釧路	釧路町・厚岸町	国有林	罝いわな	12
	合計				
R5 (2023)	石狩	恵庭市・千歳市	国有林	罝いわな	72
	オホーツク	北見市・佐呂間町	国有林	くくりわな	43
	十勝	浦幌町・釧路市	道有林	罝いわな	14
	釧路	釧路町・厚岸町	国有林	罝いわな	9
	合計				
R6 (2024)	石狩	恵庭市・千歳市	国有林	罝いわな	—
	後志	積丹町・古平町	国有林	罝い/くくり	—
	胆振	苫小牧市・厚真町	民間管理地	罝い/くくり	—
	オホーツク	北見市・佐呂間町	国有林	くくりわな	—
	合計				

エゾシカ越冬期集中捕獲事業

年度	振興局	市町村	土地管理者	猟法	捕獲数
R6 (2024)	上川	南富良野町	公営牧場	未定	—
	オホーツク	小清水町・清里町（予定）	国有林	未定	—
	釧路	釧路市・標茶町	民有林	罝いわな	—
	根室	根室市	国有林	罝いわな	—
	合計				

令和5年度（2023年度）エゾシカ一斉捕獲推進期間における捕獲事業実施結果

1 実施市町村(令和6年（2024年）2月～3月)

(暫定版)

振興局	市町村	市町村数	捕獲数(頭)
空知	夕張市(51)、砂川市(12)、三笠市(4)、長沼町(0)、栗山町(106)	5	173
石狩	札幌市(65)、千歳市(72)、恵庭市(2)	3	139
後志	小樽市(44)、島牧村(7)、寿都町(0)、黒松内町(0)、喜茂別町(0)、共和町(30)、岩内町(9)、泊村(10)、積丹町(103)、古平町(20)、仁木町(18)、余市町(44)、赤井川村(0)	13	285
胆振	登別市(3)、伊達市(2)、豊浦町(6)、壮瞥町(5)、白老町(2)、厚真町(15)、洞爺湖町(6)	7	39
日高	日高町(9)、平取町(6)、浦河町(2)、様似町(5)、えりも町(8)	5	30
渡島	函館市(54)、八雲町(2)	2	56
檜山	—	0	0
上川	旭川市(119)、士別市(1)、富良野市(0)、鷹栖町(4)、美瑛町(13)、和寒町(4)、剣淵町(1)、下川町(20)	8	162
留萌	増毛町(11)、羽幌町(10)、初山別村(4)、遠別町(55)、天塩町(0)	5	80
宗谷	稚内市(12)、豊富町(54)	2	66
オホーツク	網走市(13)、紋別市(2)、雄武町(24)、北見市(16)	4	55
十勝	新得町(7)、清水町(0)、芽室町(4)、広尾町(1)、豊頃町(127)、本別町(7)	6	146
釧路	釧路市(114)、白糠町(19)	2	133
根室	標津町(36)、別海町(103)、羅臼町(19)	3	158
全道計		65	1,522

※()内は、捕獲数を示す。

2 管理区分別捕獲数(頭)

振興局	森林					国有地	道有地	市町村有地	民有地	その他	計(頭)
	国有林	道有林	市町村有林	民有林	その他						
空知	122	0	4	47	0	0	0	0	0	0	173
石狩	139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139
後志	44	0	67	94	0	0	0	50	30	0	285
胆振	0	0	2	20	0	0	0	0	17	0	39
日高	9	0	8	5	0	0	0	8	0	0	30
渡島	0	18	2	21	0	0	0	0	15	0	56
檜山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上川	132	0	0	10	0	0	0	20	0	0	162
留萌	0	0	0	33	0	0	0	23	24	0	80
宗谷	60	0	0	0	0	0	0	0	6	0	66
オホーツク	18	0	0	37	0	0	0	0	0	0	55
十勝	7	69	40	30	0	0	0	0	0	0	146
釧路	0	0	3	114	0	0	0	16	0	0	133
根室	6	0	13	36	0	0	0	0	103	0	158
全道計	537	87	139	447	0	0	0	117	195	0	1,522

3 一斉捕獲の実施場所(規制区分別)

規制区分	振興局	区域
鳥獣保護区	石狩	札幌市(羊ヶ丘白旗山鳥獣保護区)、 千歳市(支笏湖鳥獣保護区)
	上川	旭川市(神居古潭鳥獣保護区)、 富良野市(東京大学附属北海道演習林鳥獣保護区)
	宗谷	稚内市(稚内鳥獣保護区) 豊富町(サロベツ鳥獣保護区)
	オホーツク	北見市(滝の湯鳥獣保護区、オホーツクの森鳥獣保護区) 新得町(新得山鳥獣保護区)、
	十勝	広尾町(大丸山鳥獣保護区)、 本別町(義経山鳥獣保護区)
	釧路	釧路市(阿寒湖鳥獣保護区) 白糠町(茶路鳥獣保護区、京都大学北海道研究林白糠鳥獣保護区、 上茶路鳥獣保護区)
	根室	別海町(風蓮湖鳥獣保護区)、羅臼町(知床鳥獣保護区)
自然公園	後志	泊村(ニセコ積丹小樽海岸国立公園)
	オホーツク	網走市(網走国立公園)
	釧路	釧路市(阿寒摩周国立公園)、白糠町(阿寒摩周国立公園)
	根室	別海町(野付風蓮道立自然公園)
特定猟具使用禁止 区域	釧路	白糠町(白糠町青少年旅行村特定猟具使用禁止区域)
その他	空知	夕張市(保安林)

4 林道除雪等の実施状況

振興局	市町村	路線
空知	夕張市	【林道除雪】草木舞林道 【通行開放】草木舞林道 【通行規制】草木舞林道
石狩	千歳市	【林道除雪】千歳林道ほか
	恵庭市	【林道除雪】漁御料林道 【通行規制】漁御料林道
胆振	豊浦町	【通行規制】町道幸町桜線
日高	日高町	【林道除雪】滝ノ沢林道
渡島	函館市	【林道除雪】女那川林道 【通行開放】女那川林道 【通行規制】女那川林道
上川	旭川市	【林道除雪】近文神居古潭自転車専用道路、春日3号線 【通行開放】春日3号線 【通行規制】近文神居古潭自転車専用道路
オホーツク	紋別市	【林道除雪】併用林道上古丹 【通行開放】併用林道上古丹 【通行規制】併用林道上古丹
	北見市	【林道除雪】大和林地、北見富士見林地、Y線の沢林地、忠福林地、日吉学校の沢林地 【通行規制】大和林地、北見富士見林地、忠福林地、日吉学校の沢林地
十勝	広尾町	【林道除雪】幹線林道大丸山線
	豊頃町	【林道除雪】ワッカリベツ林地、背負林地、寒寒峰林地、上砂川林地、下砂川林地、 久保長節林地、千望山林地、上湧洞林地、ポン長節林地、旅長峠林地
釧路	白糠町	【林道除雪】民有林林道新興松川線

5 有効活用の実施状況

振興局	市町村	処理頭数					処理先（太字は認証施設）
		食肉加工	ペット フード	一時 養鹿	その他	計	
空知	砂川市	12	0	0	0	12	
	計	12	0	0	0	12	
石狩	札幌市	55	7	0	0	62	Mt、あぶかの森、テイルスタイル、南富フーズ
	計	55	7	0	0	62	
後志	小樽市	1	0	0	0	1	
	島牧村	0	0	0	10	10	産廃処理場
	泊村	10	0	0	0	10	
	計	11	0	0	10	21	
胆振	登別市	0	0	0	3	3	登別市クリンクルセンター
	伊達市	0	0	0	2	2	自家消費
	豊浦町	0	0	0	6	6	一部自家消費 残りは現地埋設
	壮瞥町	0	0	0	5	5	全て自家消費
	厚真町	0	0	0	15	15	埋設処分
	洞爺湖町	0	0	0	6	6	ハンター食用に利用
	計	0	0	0	37	37	
日高	えりも町	1	0	0	0	1	旧百人浜レストハウスエゾシカ解体処理施設
	様似町	0	0	0	5	5	様似町エゾシカ残渣処理施設 自家消費
	平取町	0	6	0	0	6	
	計	1	6	0	5	12	
渡島	函館市	0	0	0	54	54	
	計	0	0	0	54	54	
上川	旭川市	0	101	0	0	101	(有)ドッグライフ
	鷹栖町	4	0	0	0	4	エゾシカ解体処理加工施設 山恵
	計	4	101	0	0	105	
宗谷	豊富町	54	0	0	0	54	(株)サロベツベニソン
	計	54	0	0	0	54	
十勝	北見市	0	0	0	16	16	【運搬】北海道プロテイン【処理】林-ツク農業協同組合連合会林-ツク地域化製場、猟友会端野部会
	紋別市	0	0	0	2	2	残渣処理施設（リテック）
	計	0	0	0	18	18	
十勝	新得町	0	0	0	7	7	サホロ畜産
	豊頃町	30	0	0	0	30	自家消費
	本別町	0	0	0	7	7	
	計	30	0	0	14	44	
釧路	釧路市	0	0	114	0	114	阿寒グリーンファーム（北泉開発(株)）
	白糠町	11	0	0	0	11	(株)北海道えぞ鹿ファクトリー
	計	11	0	114	0	125	
根室	別海町	0	0	0	103	103	エゾシカ食肉事業協同組合
	羅臼町	0	0	0	16	16	自家消費
	計	0	0	0	119	119	

6 その他

○一斉捕獲の推移

振興局	令和2年度 (R3.2~3月)			令和3年度 (R4.2~3月)			令和4年度 (R5.2~3月)			令和5年度 (R6.2~3月)			
	市町村 数	地区数	捕獲数	市町村 数	地区数	捕獲数	市町村 数	地区数	捕獲数	市町村 数	地区数	捕獲数	
空知	5	13	159	4	6	212	5	6	185	5	14	173	
石狩	2	3	71	3	4	50	3	1	11	3	5	139	
後志	11	18	95	10	21	100	14	35	153	13	33	285	
胆振	6	10	55	5	8	40	6	8	37	7	18	39	
日高	4	8	45	5	8	51	4	7	32	5	7	30	
渡島	2	5	29	1	4	53	2	6	62	2	9	56	
檜山	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
上川	7	9	148	8	11	113	8	11	110	8	14	162	
留萌	7	18	217	5	12	252	5	16	269	5	8	80	
宗谷	2	2	13	2	2	84	3	3	116	2	2	66	
オホーツク	3	12	83	4	6	82	6	13	144	4	9	55	
十勝	7	17	317	7	13	298	6	11	195	6	26	146	
釧路	3	3	159	3	6	143	3	3	189	2	2	133	
根室	2	6	729	2	4	559	2	14	265	3	13	158	
全道計	61	124	2,120	59	105	2,037	67	134	1,768	65	160	1,522	
全道計	メス捕獲数		1,559	メス捕獲数		1,533	メス捕獲数		1,279	メス捕獲数			1,087

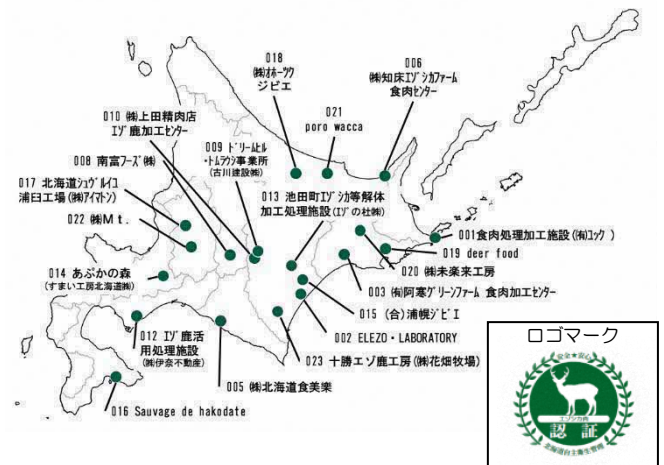
7 一斉捕獲の実施場所数

年度	森林				
	国有林	道有林	市町村有林	民有林	その他
平成30年度	31	19	37	67	0
令和元年度	20	6	32	57	0
令和2年度	30	9	37	53	1
令和3年度	19	9	29	49	1
令和4年度	25	7	39	52	5
令和5年度	27	2	39	52	1

エゾシカ有効活用の取組(令和5年度)について

1 エゾシカ肉処理施設認証制度

安全・安心なエゾシカ肉の提供と販路拡大を図り、地域ブランド化を推進することを目的とし、北海道がエゾシカ肉処理施設を認証する制度を平成27年12月に創設、平成28年度より運用を開始し、令和6年8月末現在で20施設を認証。



2 エゾシカジビエ利用拡大推進事業

狩猟によるエゾシカの捕獲と、その食肉利用の推進を目的として、平成30年度に事業を創設。事前に講習を受講し、参加申込を行った上で、狩猟により捕獲したエゾシカを食肉用として北海道が指定した食肉処理施設に搬入した狩猟者に対し、8千円/頭を支援。(期間は10月～1月。搬入2頭目以降が支援対象。)

また、北海道が指定した食肉処理施設には本事業の対象となるエゾシカの食肉処理により生じる廃棄物処理費用等を支援。

※ 令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルスの影響で中止

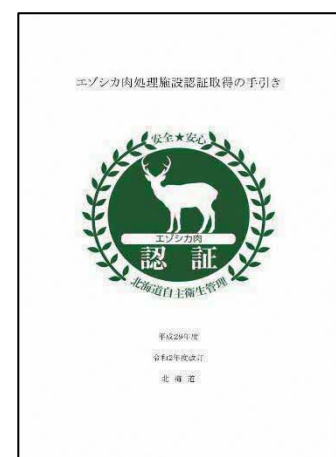


事業説明会及び講習会の様子

3 エゾシカ肉処理施設における衛生管理の向上

エゾシカ肉処理施設認証取得を促進するため、平成29年度に、管理すべき項目や必要な書類などを説明する「エゾシカ肉処理施設認証の手引き」を作成し、エゾシカ肉処理施設へ配布(令和2年度改訂)。

平成30年度から、「エゾシカ認証アドバイザー派遣事業」により、エゾシカ肉処理施設認証取得を検討している施設にアドバイザーを派遣し、助言する事業を実施。



4 エゾシカ肉等のPR

(1) 出前講座等（環境教育・給食への活用促進）

一般向けセミナーや小中高校にシカ肉栄養特性等に関する出前講座、試食、エゾシカ革・角を活用したストラップ作りを実施（19回、709名）。※一部(株)ファイターズと連携して実施



(2) イベント出展

- 9/28～9/29 エゾシカパネル展（北海道庁 1F ロビー）（238名）

(3) 包括連携協定に基づく取組

- 8/31～9/1 北洋銀行・帯広信用金庫主催のインフォメーションバザール2023（東京都豊島区・池袋サンシャイン）にてブースを設置し、パネル及び試食品（エゾシカ食肉事業協同組合提供）を展示。（約3000名来場）
- 9/14 ANA オープンゴルフトーナメント（札幌ゴルフ倶楽部・輪厚コース）でブースを設置し、小物入れ、財布、グローブ等の皮革製品等を展示。
- 10/12 道政魅力発信イベント（イトーヨーカドーアリオ札幌店）でブースを設置し、エゾシカの角・皮やパネル及び啓発物品等を展示。

(4) エゾシカフェア（12/15～2/12 道内各地）

エゾシカ肉が美味しい時期に合わせ、期間中エゾシカ料理等を提供する消費拡大キャンペーンを実施し、道内各地計105店舗が参加。



(5) シカの日（毎月第4火曜日）

毎月第4火曜日（シ₍₄₎カ_(火)の日）などにエゾシカ肉を販売、またはエゾシカ肉料理を提供する飲食店を「シカの日参加店」として登録し、HPで情報提供。令和6年8月末現在164店舗が参加。

(6) 道外でのエゾシカ肉等の PR

- エゾシカ料理セミナー in 東京 (11/8)
高級ジビエ及びエゾシカ革の価値の定着のため、シェフ及び皮革関係者を対象としたセミナーを開催。(45名参加)
- エゾシカ給食セミナー in 大阪 (11/19)
エゾシカ肉をテーマにした管理栄養士・栄養士向け給食セミナーを開催。(61名参加)



(7) エゾシカジビエツアーの開催 (2月7日～8日 釧路管内)

道内の食品事業者等を対象に、エゾシカの商品開発促進を目的としたジビエツアーを催行。(17名参加)

5 エゾシカ肉品質向上に向けた取組 (R5～R7)

(1) エゾシカ肉品質向上に関する調査 (委託)

良質なエゾシカ肉を生産するため、科学的根拠に基づく生産体制の確立に向け、食肉処理に関する調査検証を実施。道認証エゾシカ肉のブランド価値の向上を図る。

(2) エゾシカ肉品質管理のための検討懇話会の設置、開催 (1月31日)

エゾシカ肉のブランド価値の向上を図るため、有識者を招聘し、品質の向上に関する課題や品質管理体制の構築のための方向性等を検討。

6 SNS等を活用した広報

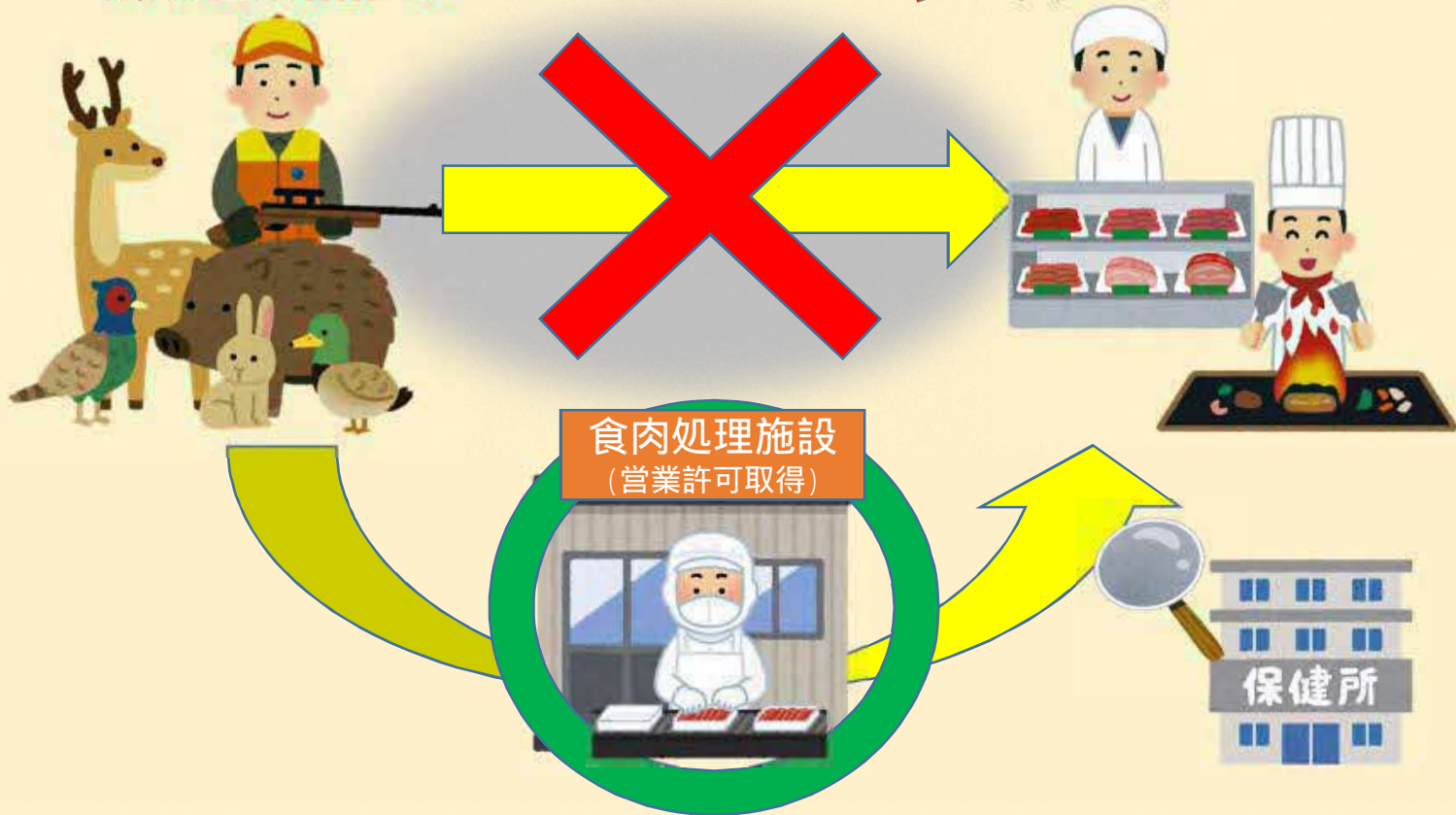
エゾシカ有効活用に関する取組の更なる推進を図るため、広報活動ツールの一つとして「おいシカ! エゾシカ!」Facebook ページを活用 (22件発信)。

※ URL 及び 2次元バーコードを読み込みすると確認できます。

<https://www.facebook.com/おいシカエゾシカ-111985480334765/>



そのジビエ… 流通させて大丈夫？



飲食店や販売店でジビエ(野生鳥獣の肉)を調理・販売する場合、食品衛生法に基づく**食肉処理業の営業許可**を取得した施設で解体された肉を仕入れなければなりません。
営業許可の申請については、管轄の自治体の保健所にお問い合わせください。

全国の保健所では、夏期及び年末に、飲食店などに対し、不法に流通したジビエの取締りを行っています。

令和3年6月からHACCPに沿った衛生管理が義務付けられ、ガイドライン や手引書を参考に作成した衛生管理計画に沿って、衛生管理を実行・記録することが必要となりました。

厚生労働省では野生鳥獣の解体や調理時に守るべき衛生管理の方法等を示したガイドラインを作成しております。また、自治体が独自にガイドラインやマニュアルを作成している場合もあります。

ジビエを食べる際には、**中心部まで十分に加熱調理(75℃、1分又はこれと同等以上)**して食べましょう。

農林水産省では、ジビエの利活用に向けた取組への支援などを行っています。

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課

代表:03-5253-1111(内線2476)

農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室

代表:03-3502-8111(内線5491)



厚生労働省



農林水産省

エゾシカ利活用のための捕獲・運搬テキスト を作成しました。

捕獲したエゾシカを食肉原材料として食肉処理施設に搬入する場合、捕獲を行う狩猟者には

- ・食品衛生・肉質管理に関する高い意識と知識
- ・頭頸部又は胸部への正確な射撃技術
- ・肉質保持のための速やかな放血と回収・運搬技術

など様々な知識・技術が求められます。

本テキストは、エゾシカ利活用のために必要となるシカの知識、射撃技術、道具類、回収方法等について、経験の浅い狩猟者にも理解しやすいように写真を交えて紹介しています。

食肉処理施設への搬入を前提として作成しておりますが、自家消費においても参考となるものとなっていますので、下記ページからダウンロードの上、ご活用ください。

エゾシカ利活用のための捕獲・運搬テキスト ダウンロードページ

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/est/R1/text_shooting.html

北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課エゾシカ対策係

銃器の基礎知識

スコープ調整

放血



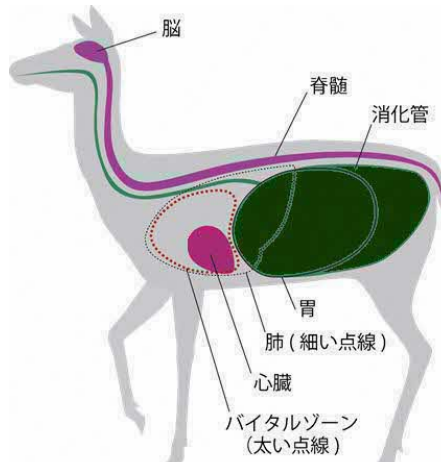
回収・運搬



狙点



解剖学的知識



射撃姿勢



囲いわなによるエゾシカ捕獲の手引き ～草地適用型囲いわなの紹介～

【背景】

- 北海道では、捕獲によるエゾシカの個体数管理を実施。
- 捕獲の大部分は銃器によるものだが、銃器の使用が困難な時間帯や場所でも、効率的に捕獲を行うため、わなによる捕獲の推進が必要。
- 特に囲いわなは、一度に複数頭のエゾシカを生きのまま捕獲可能なため、食肉利用に当たり有効な手法。

【概要】

- 道総研（エネルギー・環境・地質研究所、林業試験場、工業試験場）、酪農学園大学及び北海道環境生活部環境局自然環境課との共同で作成（令和3年（2021年）2月発行）。
- 市町村や地域協議会等の鳥獣被害対策担当者の方々が、囲いわなを利用して効果的なエゾシカ捕獲ができるよう、囲いわなの仕組みや運用方法について取りまとめ。
- 非積雪期の牧草地に適用できる新技術の「草地適用型囲いわな」についても紹介。



図 囲いわなによるエゾシカ捕獲の手引き（抜粋）

囲いわなによるエゾシカ捕獲の手引き～草地適用型囲いわなの紹介～
ダウンロードページ

http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/eeg/development/publications/reports/links/manual_kakoiwana.pdf (A4版 全56ページ：3.3MB)

くくりわな×ICTで エゾシカ捕獲をスマート化



エゾシカの捕獲による対策の推進にあたり、運搬・設置が容易で安価な「くくりわな」は、情報通信技術(ICT)の導入・活用による「スマート捕獲」化により、見回りや捕獲の効率化・省力化を図ることが期待されています。

ICT活用でできること

わな作動・捕獲の通知



わなが作動するとメールなどで捕獲が通知され、スマートフォンやパソコンでいつでも確認できる

簡単な設置や移設



簡単に設置や移設ができる機器のメリットを活かして、捕獲したい場所で機動的な対策ができる

通知情報の共有



わなの作動・捕獲の通知は同時に複数の宛先へ送信したり、管理画面を見ることで情報の共有ができる

処理・回収時間の短縮



シカが捕獲された時間や場所が分かることで、従事者が向かいやすくなり処理・回収作業の時間短縮ができる

捕獲によるエゾシカ対策をもっと進めたい

対策の人手も費用も限られていて...

スマート捕獲で課題解決

現地の作業をなるべく楽にしたい!

くくりわなは毎日の見まわりが大変で...

見回りの省力化

捕獲時間や頭数が事前に判明することにより、見回りや作業に必要なタイミングと人数がわかり、労力の軽減につながります。

捕獲の効率化

捕獲時間や場所を把握できることにより止めさしまでの時間が短縮され、動物福祉への配慮や肉質の低下を抑えることにもつながります。

作業の効率化、安全性の向上も

捕獲場所や現地の状況を把握できることにより、必要な準備を整え安全に作業をすることにもつながります。

機種によりできること

※さまざまな機種のICT機器が市販されています。撮影される写真の画質・通知共有の方法・本体の設置条件などは機種により異なります

シンプルな維持管理



電源は乾電池のみで長持ちしたり、わな作動の検知はセンサーを使用するタイプやわなと紐で結ぶだけのタイプなど、誰でも簡単に扱える機種があります

わな・捕獲状況の撮影



カメラが一体となったタイプでは、作動時にわなや捕獲個体の様子を撮影し、通知時にメールやアプリで確認できる機種もあります

場所・見回り情報の共有



わなの設置場所や見回りを行った日時などの情報も、従事者同士、従事者と担当者など同時に複数人へ通知したり、管理画面で共有できる機種もあります

山間部での使用



捕獲の通知には携帯電話の電波を使用するタイプのほか、携帯電話が通じない谷間や山間部でも数百m～最大数十kmの通信ができるタイプの機種もあります

くくりわな×ICTのメリットとは

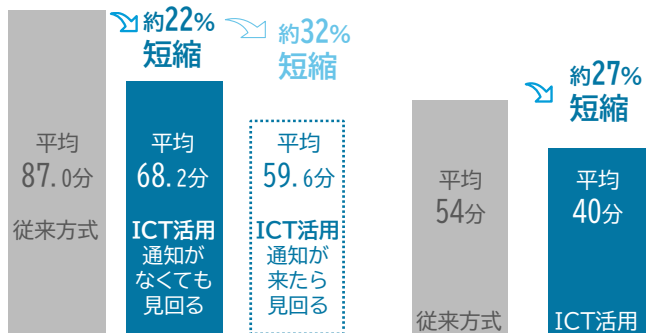
実証事業での検証結果

くくりわなによる捕獲の普及に向けて、情報通信技術(ICT)の活用による効率的な捕獲について、地理的な条件等を生かして検証を行い活用モデルを構築することを目的として令和2年度から令和3年度にICT捕獲管理体制実証事業を行いました。事業では

ICT機器を用いた場合と従来方式での比較を行うため、条件を揃えた同一か所でわなの設置から見回り、捕獲作業、機器の回収までを行い、所要時間や従事者人数を記録して、効率化・省力化について検証しました。

作業時間

同一地域に設置したわな5基の作業時間を計測・記録して比較



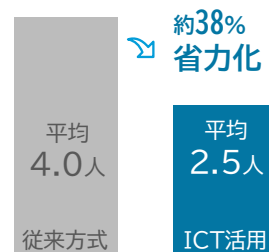
エゾシカ捕獲1頭あたりの見回り等作業時間

現地到着後とめ刺しまでの所要時間

ICT機器の設置・回収には時間がかかるが、1頭捕獲するための作業時間、止め刺しまでの時間を削減可能に

従事者人数

わな5基の設置から見回り・捕獲作業、回収まで従事した人数を計測・記録して比較



エゾシカ捕獲1頭あたりの従事者人数

把握した捕獲頭数に応じた従事者人数で作業を行うことにより人工数と人件費も削減可能に

くくりわな×ICTの検証結果

くくりわなでの活用作業時に写真を撮影するタイプのICT機器では、設置方法の工夫によりくくりわなの状態を把握できることを確認しました。



わなの雪・凍結対策
くくりわなの下面に枝を敷いて雪面から離し、食品ラップやシャワーキャップを被せることで雪による凍結防止を図り、わなが正常に作動することを確認しました。



機器の雪・凍結対策
シンプルな仕組みと防水構造の本体により、冬期にも問題なく作動することを確認しました。本体設置の工夫で作動部分にも雪がほとんど積もらず凍結のおそれも少なくなりました。



くくりわな×ICTの効果的なケース

捕獲地・わなへのアクセス

ICTを活用した場合、わなの作動が確認されない時は見回りを省力化できると、あらかじめ作動したわなが把握できることにより見回りの効率化を図ることができます。

居住地から遠い捕獲地や、駐車位置からわなの見回りに時間を要するケースでは、移動時間の削減に対し、ICTがより効果的に

エゾシカの捕獲頻度

ICTを活用した場合、捕獲頻度が高い箇所では見回り回数の削減機会が少ないことも考えられますが、わなの作動状況に応じた人数や回数の見回りを行うことができます。

数日に1回程度の捕獲が想定されるケースでは、見回り回数の削減による労力や人工の効率化に対し、ICTがより効果的に

ICTを導入するには

- ▶ICT機器は機能や特徴、価格や維持費用が異なるさまざまなタイプが市販されています。くくりわなでの運用に適したタイプ、使用目的や地域の実情に適した機器を選択するため、機種を選定や導入の際には認定事業者など経験を持つ専門家に相談しましょう。
- ▶導入には、農林業被害対策に関する補助金制度等を活用することもできます。